

5つの峠を越えて 錦川の河口に至る



いわくにおうらい

岩国往来

平成19年度認定 / 山口県岩国市 / 岩国往来まちづくり協議会

歩いて感じる街道の雰囲気大切に。

「岩国往来」は雲照寺峠、破魔射場峠、杉ケ峠、目舞坂峠、松尾峠の5つの峠を越えて錦川の河口今津に至る約30キロの道のり。藩主の領内巡検や和紙の運搬の道として栄えました。江戸時代から山代地方(本郷、美和など)、岩国地方は楮や三椏を栽培し、和紙の生産が盛んに行われました。山代和紙や岩国和紙は品質が良く、特に大

阪方面に専売品として出荷されました。雲照寺峠の見晴らしの良い場所に「阿賀駕籠立場」があったといわれています。駕籠立場は藩主を乗せた駕籠を下ろし、一行が休憩をする場所です。「岩国往来まちづくり協議会」では訪れる人に歴史を肌で感じてもらうと駕籠立場や「郷一里塚跡」を復元しています。

一里塚と
里山の風景に
疲れを忘れて。



錦帯橋のもとに設置された夢街道のプレート



岩国往来まちづくり協議会と地域の人々、ボランティアが立てた「郷一里塚」の説明板



雲照寺の赤いよだれかけをした六地藏

下ると、室町時代創建の雲照寺があります。寺の裏山には不動山が88ヶ所、斜面には石仏群が安置されています。

破魔射場峠を越え、古い石垣の美しい集落をすぎると、「志谷駕籠立場」。志谷では古くから市が立ち、宿屋もあったといわれています。

ここまでは萩藩、杉ヶ峠からは岩国藩の領地です。峠付近には番所があったと伝えられています。本郷から横田までは半日の行程です。



休憩もできる志谷駕籠立場

横田には藩主が昼食と休憩をされた本陣が残っています。

しばらく行くと、めまいがするほどの急坂だったことから名づけられた目舞坂峠が…。目舞坂一里塚の苔に覆われた石積みは、岩国往来に現存する数少ない歴史遺産です。難所とされた松尾峠の展望台からは、瀬戸の海が光って見えました。

多田で旧山陽道に合流し、宿場町・関戸から錦川に沿って下ると、錦帯橋の美しい姿が見えてきます。藩主が船待ちをした御茶屋や札場などがあった港町、今津まではもうすぐです。

自治会と一緒に30キロの沿線沿いを一つずつ整備を続けています。



「岩国往来まちづくり協議会」会長の藤森勝彦さん(右)と副会長の三木祐一さん(左)

はじめは二人で忘れられていた古道を調査し、復元に取り組みました。自治会の皆さんが土地や材料の間伐材なども協力、案内板の設置や駕籠建場の復元が進みました。JRのウォーキングツアーもできて、訪れる人が増えています。一緒に作業する中で地域同士が仲良くなったり、ツアー客がボランティアをしてくれたり…つきあいがどんどん広がっています。どこの地域でも問題のトイレも店舗や学校、公民館などの協力でクリアすることができました。お金をかけなくてもできることがあると実感しています。

萩往還 P161

西国街道・いのち歴史の散歩道 P149



散策マップあります

柳井につぼん晴れ街道 P157

- ① 代官所門跡
- ② 毛利元就「百万一心」の碑
- ③ 西照寺
- ④ 金屋一里塚
- ⑤ 不飲浴
- ⑥ 阿賀駕籠立場所跡
- ⑦ 雲照寺
- ⑧ 街道松
- ⑨ 郷の一里塚跡
- ⑩ 北原の石地蔵
- ⑪ 志谷一里塚
- ⑫ 志谷駕籠立場所跡
- ⑬ 石像仏群
- ⑭ 目舞坂一里塚
- ⑮ 長谷一里塚
- ⑯ 永代橋と石碑
- ⑰ 長谷渓谷
- ⑱ 駕籠立場所跡
- ⑲ 関戸本陣跡
- ⑳ 大内迫一里塚跡
- ㉑ 錦帯橋
- ㉒ 錦見札場跡
- ㉓ 岩国市役所
- ㉔ 和木町役場
- ㉕ 大竹市役所



錦帯橋の端材や間伐材で作った案内標識



本郷小学校入口に立ち、子供達を温かく見守っています

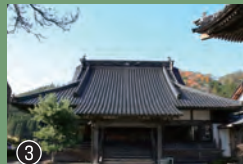


交通 ● 錦帯橋まで
岩国ICから車で約10分
JR西岩国駅から約1.8Km

お問い合わせ ●
岩国往来まちづくり協議会
☎0827-43-0220

ぶらり歩いてみよう

西照寺



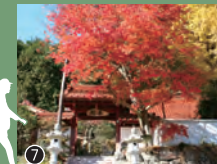
元和年代に建立されたもので、毛利輝元夫婦の位牌があります。境内の山門は奥山代宰判代官所の門。

阿加賀駕籠立場所跡



雲照寺の近くにあったとされ、資料を元にボランティアにより復元されました。

雲照寺



文殊像など仏像のほか、裏山に88箇所の不動山、斜面には石仏群が安置されています。

志谷駕籠立場所跡



御国廻り絵図にも存在が記されています。

石像仏群



斜面に70～80体以上の石造仏。

目舞坂一里塚



直径2m。当時の原型がよく保たれている一里塚です。

長谷一里塚



実際に石組みとして使用されていた物を使い、復元。

近くの長谷ほたる川は、ほたるの川とし保全活動が行われています。

錦帯橋



延宝元(1673)年、第三代岩国藩主吉川広嘉によって創建。川幅約200mの錦川にかかる美しい木造五連太鼓橋は、日本三名橋の一つで、国の名勝にも指定されています。

ちょっとウンチク

一里塚とは、江戸時代初期、人馬賃金の標準を定めたり、旅人の疲れを癒す日陰を作るため、街道の両側に一里(約4km)に渡って築かれた塚のことです。

イベント・活動

ボランティアによる復元と整備活動



岩国往来は、地元の子どもから大人までボランティアによる整備や復元、保全活動によって維持されています。一里塚や駕籠立場所も一つ一つ復元されています。

4月～3月(7,8月を除く)
JRふれあいウォーク



ガイドと一緒に、一里塚や駕籠立場所のある街道を、森林浴しながらウォーキングを楽しめます。

オススメ周辺情報

- ↑とこととトレイン
- ♨ 雙津峡温泉
- 🌊 弥栄湖

山口
⑳ 岩国往来